2021年度
第2四半期決算および通期業績見通し
説明資料

星光PMC株式会社（東証1部 4963）
2021年8月24日

目次

✧Ⅰ. 2021年度　第2四半期決算（連結）

✧Ⅱ. 2021年度　通期業績見通し（連結）

✧Ⅲ.　事業動向

✧Ⅳ.　中期経営計画「New Stage 2021」

✧Ⅴ.　ESG・SDGsに向けた取り組み

✧Ⅵ.　新市場区分への対応

✧ Appendix

Ⅰ.2021年度 第2四半期決算（連結）概況

決算の概況

(百万円)	2020年度	2021年度	前年同期比	
	上期実績	上期実績	増減	増減率
売上高	12,544	14,984	+2,440	+19.5%
営業利益	970	1,503	+533	+54.9%
営業利益率	7.7%	10.0%	-	-
経常利益	983	1,632	+649	+66.0%
経常利益率	7.8%	10.9%	-	-
当期純利益*	619	1,063	+444	+71.6%
減価償却費	558	582	+24	+4.3%
設備投資	911	1,728	+817	+89.7%
研究開発費 (対売上高比率)	909 (7.2%)	948 (6.3%)	+39	+4.3%

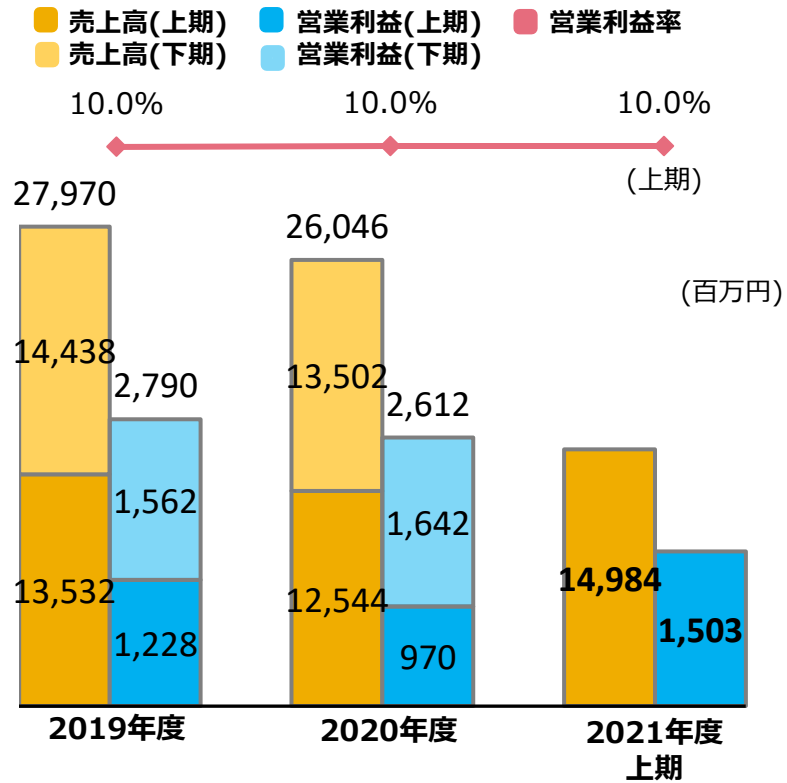
為替： 2021年上期平均　1ドル＝108円　（2020年上期平均　1ドル＝108円）

*親会社株主に帰属する当期純利益

売上高　：国内外の需要回復と、海外を中心とした新規拡販により増収

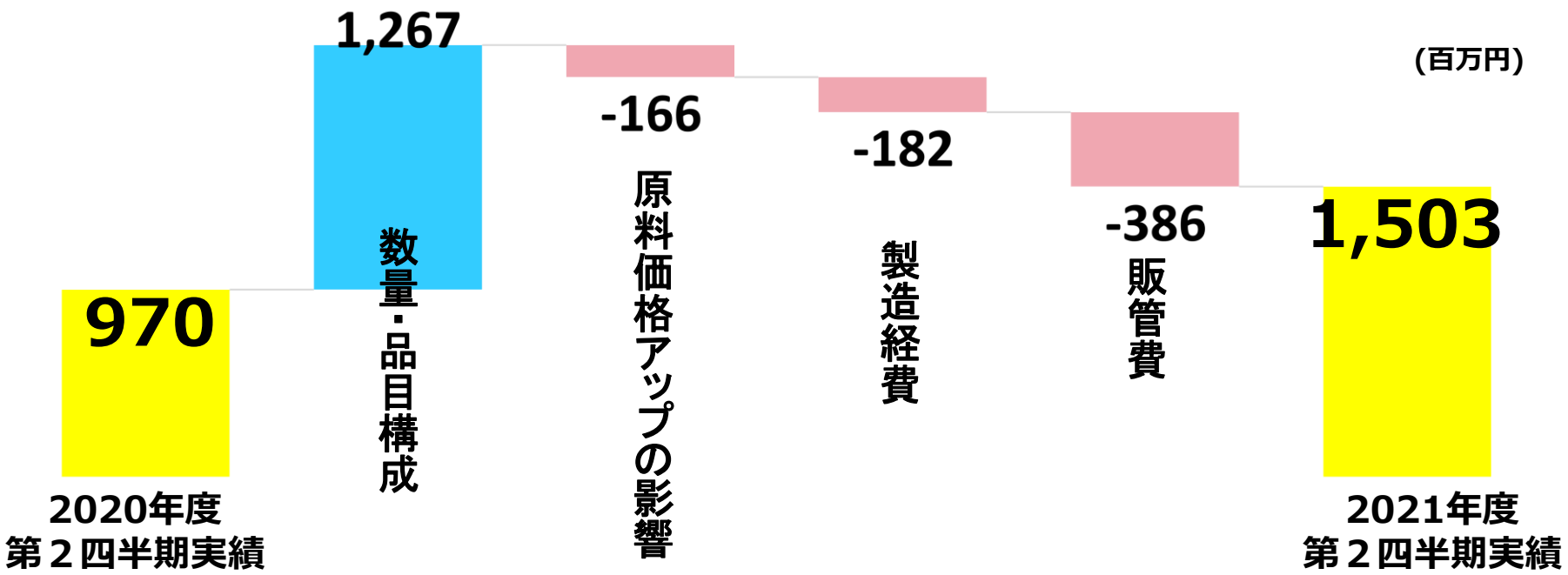
営業利益：原材料及び物流コスト増加の影響はあったが出荷増により増益

売上・営業利益・経常利益・純利益いずれも過去最高



Ⅰ.2021年度 第2四半期決算（連結） 営業利益増減分析

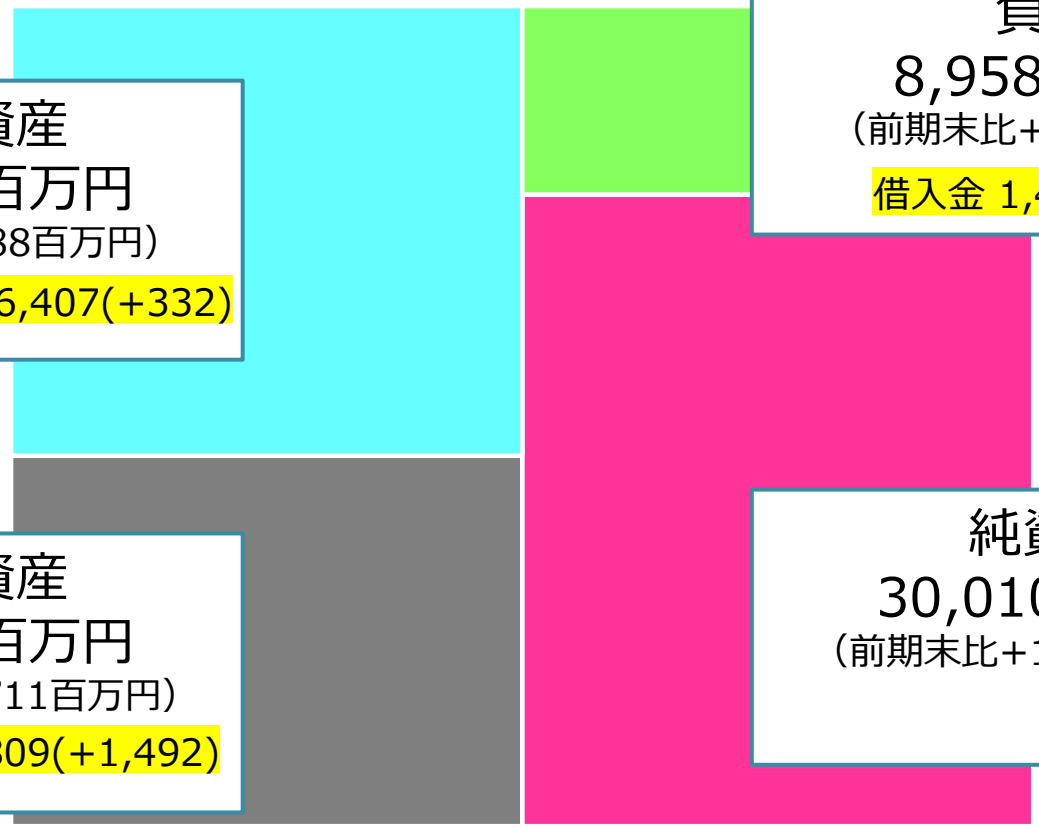
2020年度第2四半期実績 → 2021年度第2四半期実績
970百万円 → 1,503百万円 (+533百万円、+54.9%)



国内外の需要回復や、新規拡販による出荷増及び品目構成良化により増益

Ⅰ.2021年度 第2四半期決算（連結）連結貸借対照表

有形固定資産はベトナム及び台湾（新綜工業）の新工場建設により、1,492百万円の増加も、実質無借金経営を継続、自己資本比率は72.3%と引き続き高水準で推移



流動資産
21,370百万円
（前期末比+188百万円）
現金・預金、貸付金 6,407(+332)

負債
8,958百万円
（前期末比+340百万円）
借入金 1,440(+13)

固定資産
17,599百万円
（前期末比+1,711百万円）
有形固定資産 15,809(+1,492)

純資産
30,010百万円
（前期末比+1,559百万円）

総資産
38,969百万円（前期末比+1,899百万円）

Ⅰ.2021年度 第2四半期決算（連結） キャッシュ・フロー

（百万円）		2020年度（1-6月）	2021年度（1-6月）
営業活動によるCF	税金等調整前当期純利益	959	1,628
	減価償却費	558	582
	法人税等の支払額	▲307	▲339
	運転資本の増減額(▲は増加)	1,891	338
	その他	▲359	▲244
	計	**2,742**	**1,965**
投資活動によるCF	有形固定資産の取得による支出	▲1,067	▲1,529
	投資有価証券の取得による支出	▲3	▲3
	短期貸付金の純増減額(▲は増加)	257	403
	その他	▲17	0
	計	**▲830**	**▲1,129**
財務活動によるCF	配当金の支払額	▲242	▲242
	その他	▲40	▲41
	計	**▲282**	**▲283**
現金および現金等価物に関わる換算差額		▲58	183
現金および現金等価物の増減額		1,571	735
現金および現金等価物の期首残高		1,663	2,985
現金および現金等価物の期末残高		**3,234**	**3,721**

II.2021年度 通期業績見通し（連結）

業績見通しの概況

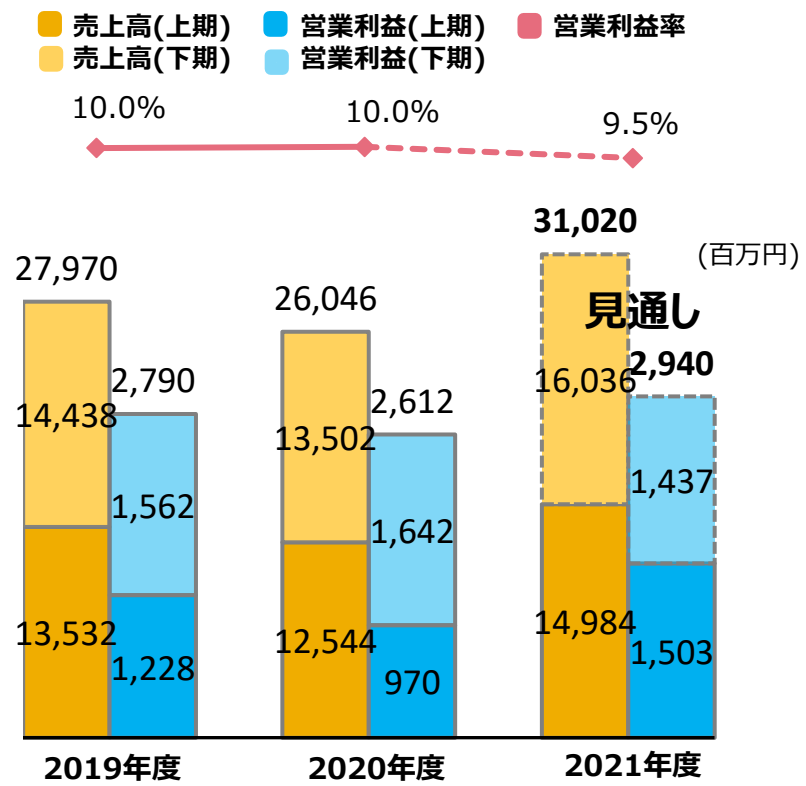
(百万円)	2020年度	2021年度			
	実績	見通し		前年度比	
		期初	最新	増減	増減率
売上高	26,046	28,640	31,020	+4,974	+19.1%
営業利益	2,612	2,800	2,940	+328	+12.5%
営業利益率	10.0%	9.8%	9.5%	-	-
経常利益	2,667	2,860	3,100	+433	+16.2%
経常利益率	10.2%	10.0%	10.0%	-	-
当期純利益*	1,685	1,790	1,950	+265	+15.7%
減価償却費	1,188	1,460	1,460	+272	+22.9%
設備投資	2,660	4,000	4,000	+1,340	+50.4%
研究開発費 (対売上高比率)	1,810 (6.9%)	1,962 (6.9%)	1,962 (6.3%)	+152	+8.4%

為替：2021年通期見通し　1ドル＝109円　（2020年通期実績　1ドル＝107円）

*親会社株主に帰属する当期純利益

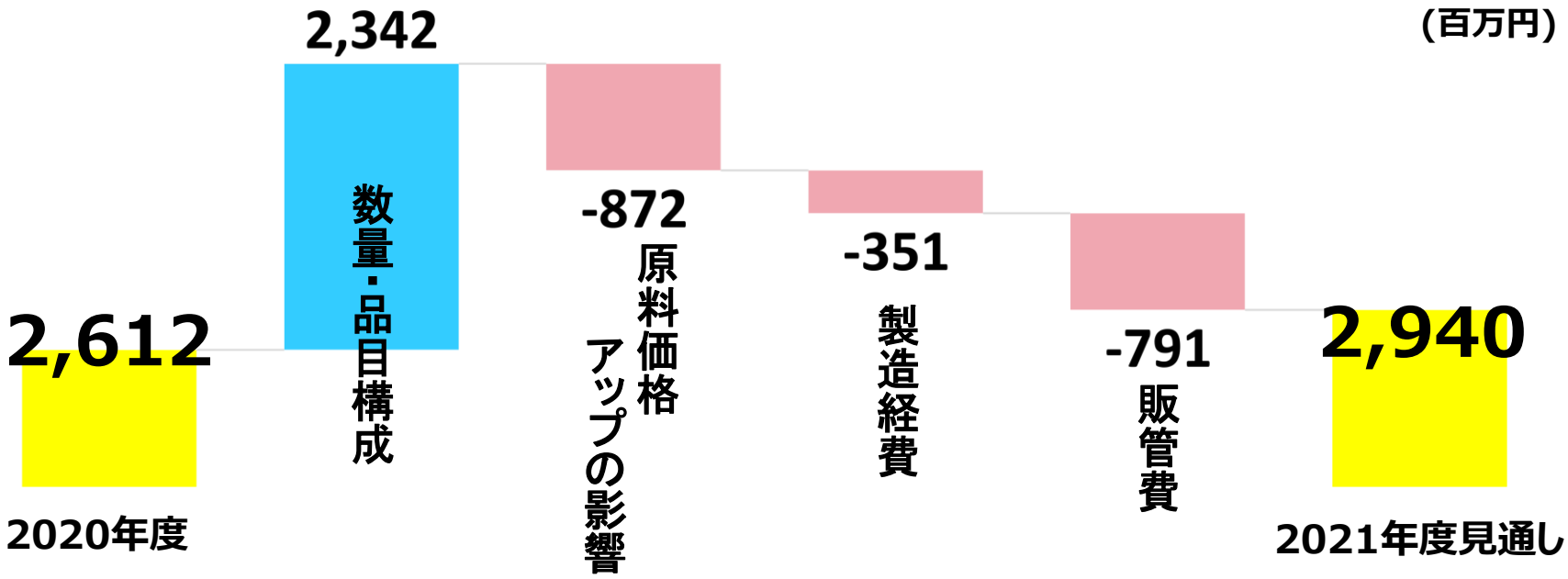
売上高　：国内外における需要増及び拡販により、増収の見込み

営業利益：下期は原料価格の騰勢が強まるも、通期で増益の見込み



Ⅱ.2021年度 通期業績見通し（連結） 営業利益増減分析

2020年度実績 → 2021年度見通し
2,612百万円 → 2,940百万円 (+328百万円、+12.5%)



原材料価格の騰勢が強まるも、国内外の需要回復及び新規拡販による出荷増により増益

Ⅲ.製紙用薬品事業

第２四半期実績				
(百万円)	2020年度	2021年度	増減	増減率
売上高	7,295	8,419	+1,125	+15.4%
営業利益	530	702	+172	+32.3%

通期			
2020年度実績	2021年度見通し	増減	増減率
15,001	17,843	+2,842	+18.9%
1,453	1,337	▲116	▲8.0%

2021年度第２四半期実績

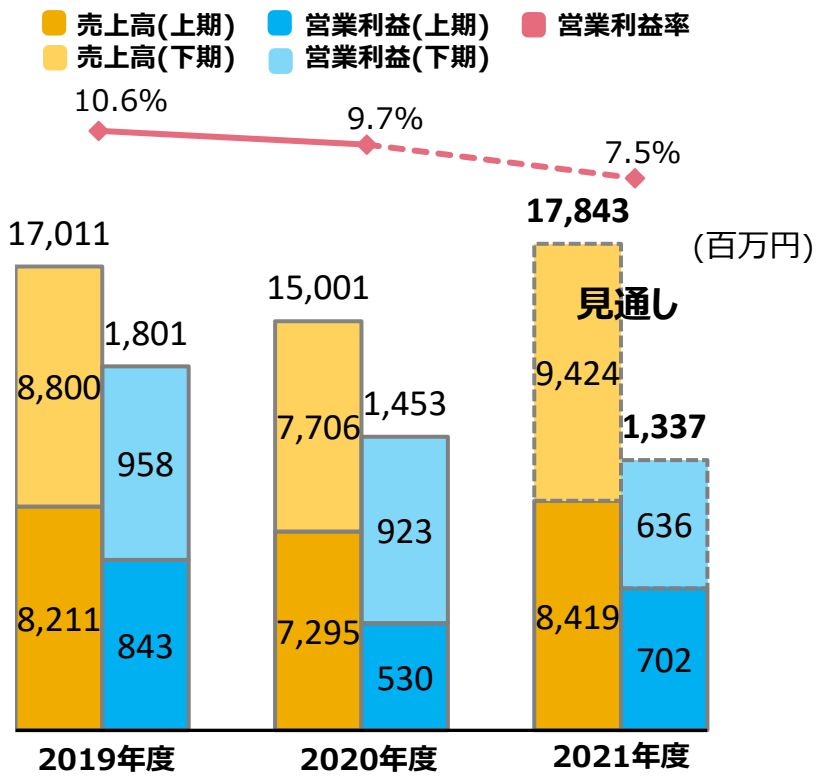
売上高　：段ボール原紙を中心とした堅調な需要、及び中国・東南アジアにおける拡販により増収

営業利益：ロジン原料価格上昇も、出荷増により増益

2021年度通期見通し

売上高　：需要回復の取り込み、及び国内外における拡販により増収を見込む

営業利益：原料価格の一段の上昇に加え、海外展開に向けた販管費及び設備投資による償却費など成長に向けた先行投資の増加により、減益を見込む



Ⅲ.樹脂事業

第２四半期実績				
(百万円)	2020年度	2021年度	増減	増減率
売上高	3,135	3,980	+845	+27.0%
営業利益	287	430	+143	+49.7%

通期			
2020年度実績	2021年度見通し	増減	増減率
6,844	8,344	+1,500	+21.9%
800	1,096	+296	+37.0%

2021年度第２四半期実績

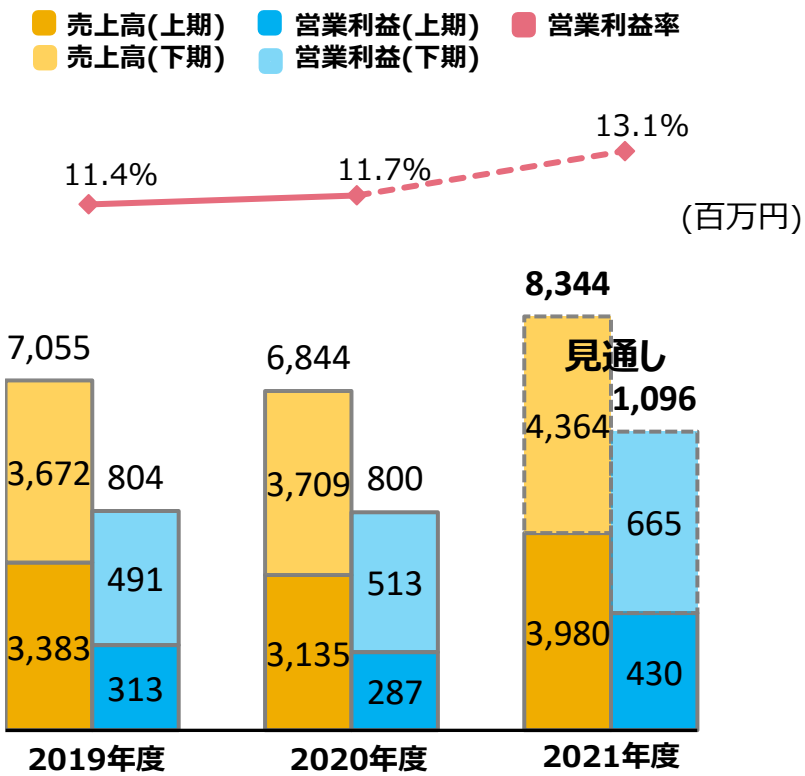
売上高　：国内は高付加価値製品、海外は粘着剤（新綜工業）の拡販が進み、増収

営業利益：出荷増により増益

2021年度通期見通し

売上高　：高付加価値製品・粘着剤の拡販により増収を見込む

営業利益：原料価格値上がりも、出荷増により、増益を見込む



Ⅲ.化成品事業

第２四半期実績				
(百万円)	2020年度	2021年度	増減	増減率
売上高	2,113	2,584	+471	+22.3%
営業利益	350	670	+320	+91.2%

通期			
2020年度実績	2021年度見通し	増減	増減率
4,199	4,841	+642	+15.3%
716	1,016	+300	+41.9%

2021年度第２四半期実績

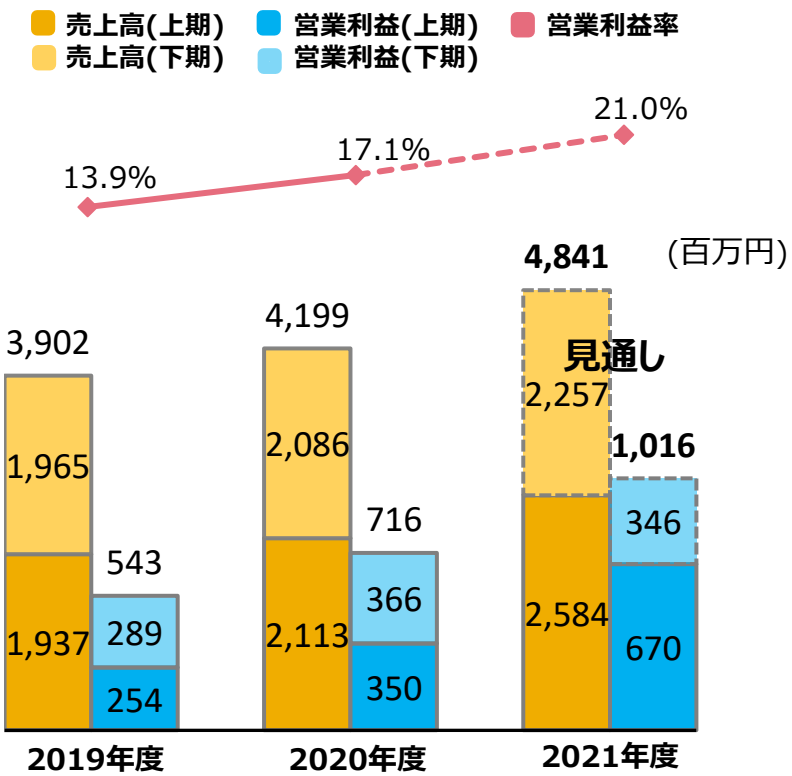
売上高　：機能性モノマーの旺盛な需要に伴う欧州・アジアへの輸出が好調により、増収

営業利益：出荷増により増益

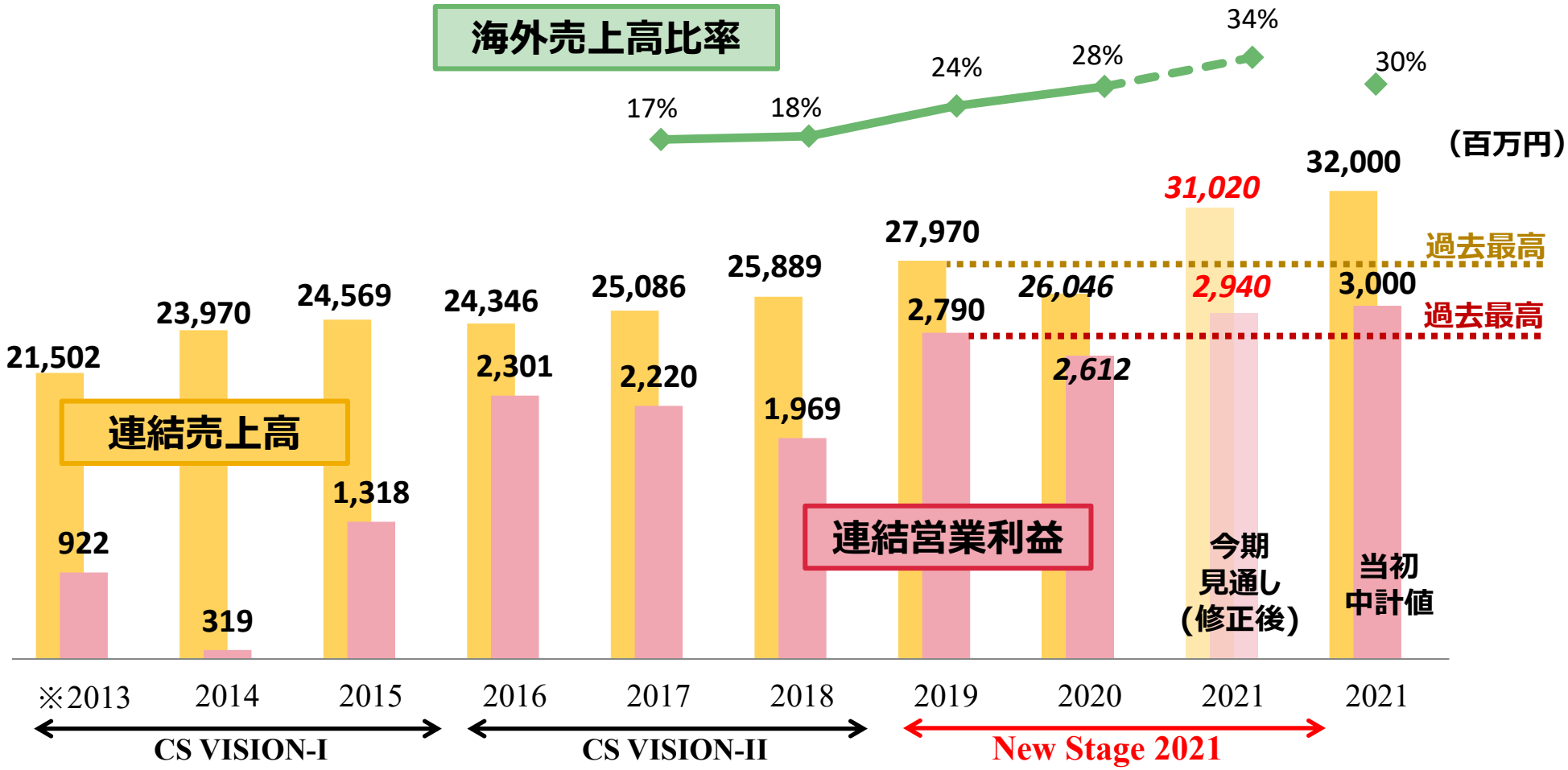
2021年度通期見通し

売上高　：下期は増産対応工事に伴い一時的に稼働が下がるが、欧州・アジアへの輸出が牽引し、通期は増収の見込み

営業利益：下期は販売減と原料価格上昇により昨年並みも、通期では増益を見込む



Ⅳ.中期経営計画「New Stage 2021」 ①業績推移



※2013年度は決算期変更に伴い9か月決算であったため同一期間（1-12月）で表記

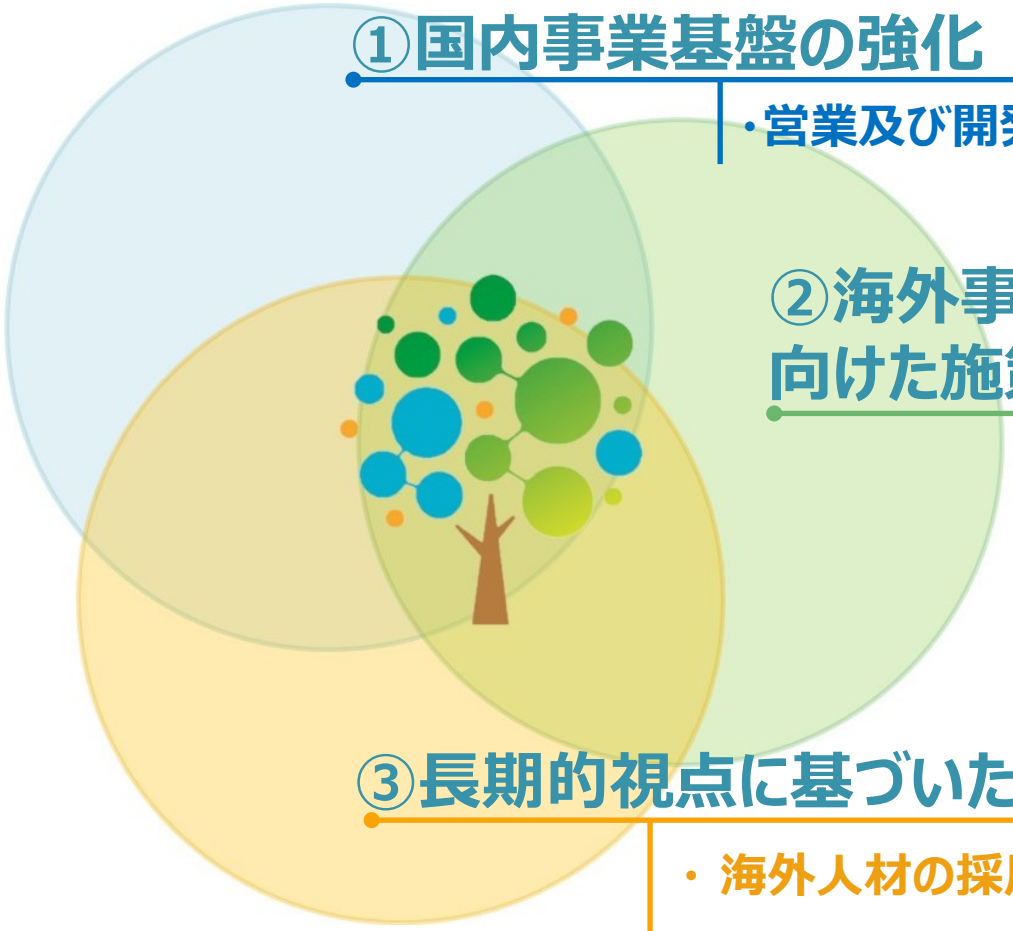
営業利益は中計目標値に僅かに未達の見通しであるが、引き続き30億円達成に向けた努力を継続

Ⅳ.中計「New Stage 2021」 ②概要

New Stage 2021（2019～2021年度）

基本方針：

これから益々必要とされる**環境技術を軸に**、国内事業基盤を堅持し、成長著しい海外に積極展開し、新事業構築を通じて**持続的社会の実現に貢献するグローバル企業**を目指します。



①国内事業基盤の強化

・営業及び開発体制の強化、製品ポートフォリオの変革

②海外事業拡大・新事業構築に向けた施策の実施

・ベトナム子会社設立による製紙用薬品の海外事業拡大
・新綜工業（台湾）の新工場稼働による粘着剤の事業拡大
・CNF、AgNW事業化の推進

③長期的視点に基づいた経営基盤の構築

・海外人材の採用活動強化、育成を支える制度構築

Ⅳ.中計「New Stage 2021」 ③新増設（海外）

製紙用薬品事業（ベトナム）

ベトナム・ホーチミン市近郊に製紙用紙力増強剤等を製造・販売する現地法人を2019年12月に設立。

新型コロナウイルスの感染拡大によるロックダウン等の影響で工場の竣工時期には不透明感が発生。

製紙用薬品事業（中国）

中国・東南アジアのさらなる需要増加を見越し、2021年、中国・張家港工場の増産設備を稼働。

樹脂事業（新綜工業・台湾）

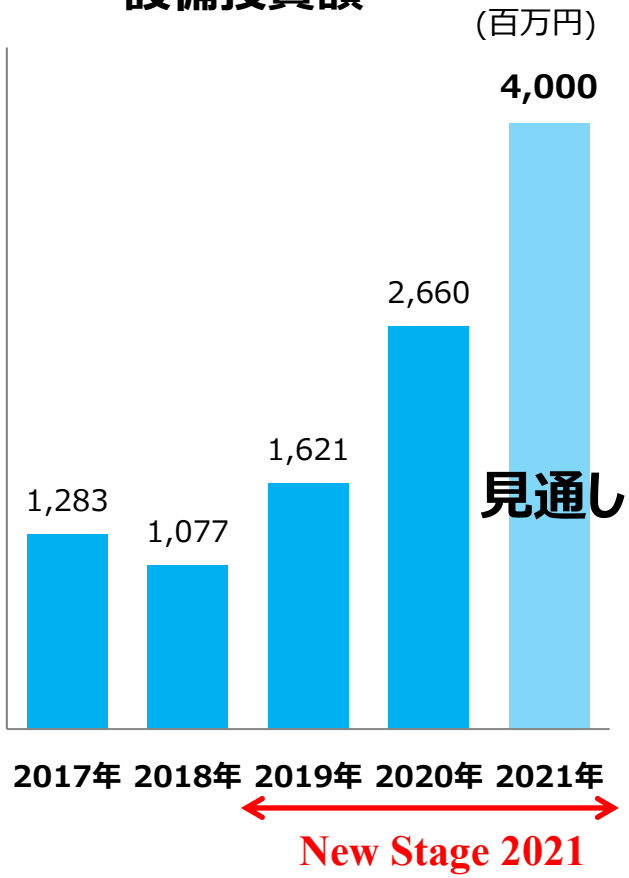
粘着剤の拡販・安定供給能力向上のため、2021年に観音工場を稼働させ、台湾二工場体制を構築。

顧客からの強い引き合いを受け、さらに観音工場内に増産設備を導入。

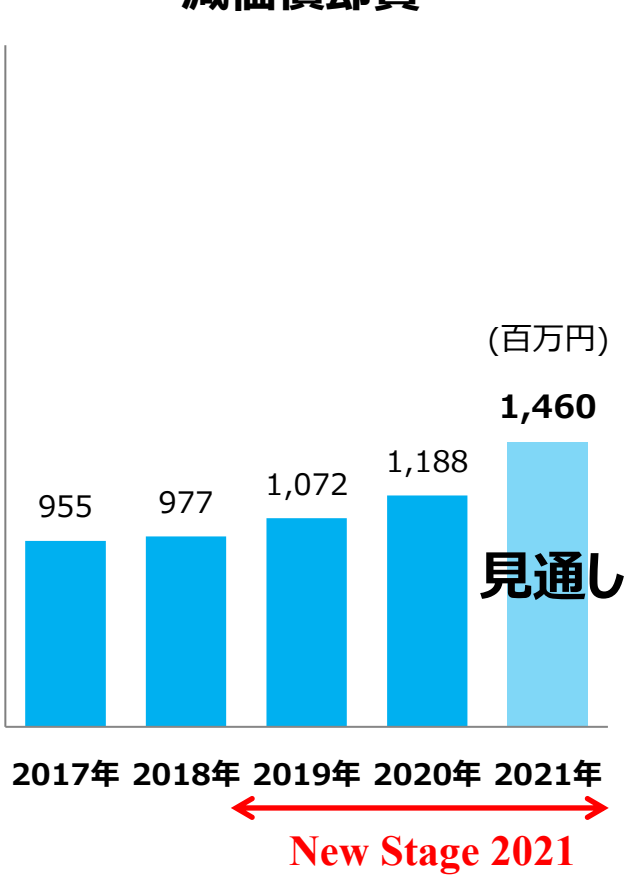
Ⅳ.中計「New Stage 2021」 ④設備投資及び研究開発費

成長のための投資として、ベトナム工場の投資を中心に国内外で設備投資を40億円計画し、持続的な成長に向け、研究開発投資として約20億円を予定

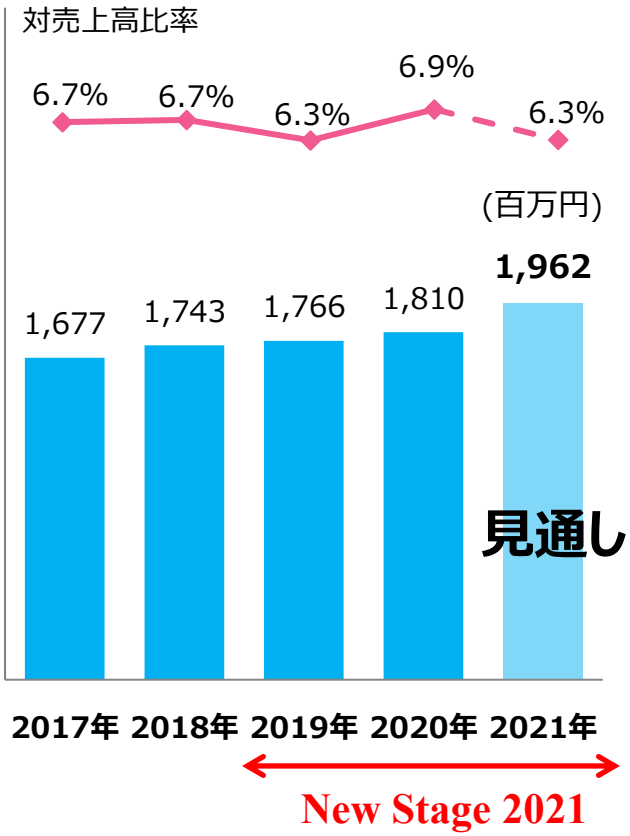
設備投資額



減価償却費



研究開発費



Ⅳ.中計「New Stage 2021」 ⑤CNF配合樹脂*STARCEL®*

STARCEL®

✓令和３年度 科学技術分野の 文部科学大臣表彰　科学技術賞　受賞

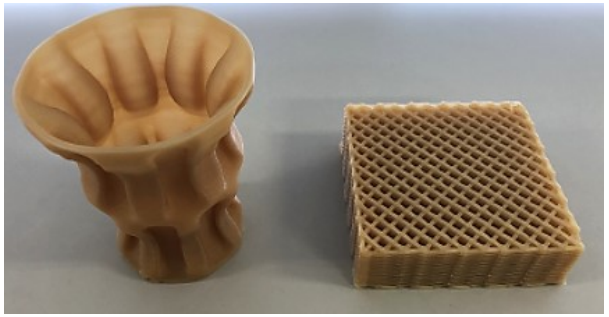
業績名 「セルロースナノファイバー複合樹脂製造プロセスの開発」

✓製造方法改良による大幅なコストダウン実現の取組み

NEDO助成事業「炭素循環社会に貢献するCNF関連技術開発」を通じて、製造方法の改良による大幅なコストダウンを実現し、CNFの普及を推進

✓用途展開の加速

3Dプリンターを活用した造形加工にCNF配合樹脂を応用
また、自動車、家電、建材、日用品等の様々な用途へのCNF配合樹脂の適用を積極的に展開



エス.ラボ株式会社様ご提供　３D造形物

エコテクノロジーであるCNFの研究開発ならびに、お客様との取組みを通じて、人と環境が共生する持続可能で豊かな社会づくりに貢献

Ⅳ.中計「New Stage 2021」 ⑥銀ナノワイヤ

銀ナノワイヤインクおよびオーバーコート剤

✓**特徴**

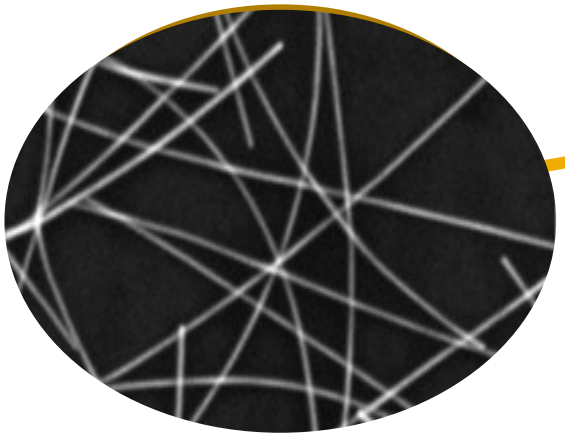
導電性、透明性、フレキシブル性のある導電膜をウェットプロセスで製膜可能

✓**耐環境特性**

高湿高温条件、太陽光、人工灯下のすべての条件で高い耐環境特性を実現

✓**用途**

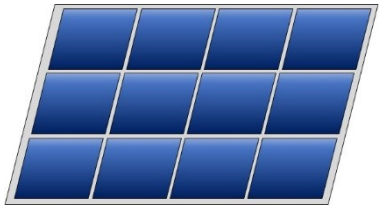
有機太陽電池の透明電極、フレキシブルディスプレイ、各種デバイス等への適用可能



＋

オーバーコート剤
（保護層）

銀ナノワイヤ透明電極層



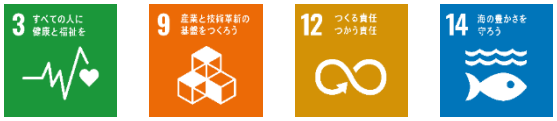
有機太陽電池

フレキシブルディスプレイ

幅広い用途への適用を実現するため、応用検討を継続

Ⅳ.中計「New Stage 2021」 ⑦Green Index

Green Index：当社環境戦略製品の売上指標



リサイクル促進

★乾燥紙力剤
（古紙リサイクル）
★脱プラ関連製品

天然素材活用

★CNF（セルロース）
★バイオマスインキ用樹脂

低環境負荷・低VOC

★水性インキ用樹脂
★脱プラ関連製品
★水性モノマー・ 環境対応型溶剤
★無溶剤型粘着剤

排水浄化

★乾燥紙力剤（澱粉代替）
★微生物製剤（排水処理）

エネルギー低減

★乾燥紙力剤（生産性向上）
★CNF（自動車軽量化）

	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021		
				期初	見通し	中計目標
Green Index	100	105	102	114	121	126

中計目標値は未達の見通しだが、環境戦略製品の拡販が進み、20年比では大幅に増加

Ⅴ. ESG・SDGsに向けた取り組み　①GHG削減

星光PMCグループの経営理念に基づき、事業活動を通して、ＥＳＧ・ＳＤＧｓに取り組んでいます。

事業活動に伴う環境への排出を把握し、環境負荷の低減に取り組んでいます。
2020年度　CO_2排出量 8%削減（2013年度比）
GHG（温室効果ガス）の削減加速に向けた施策を策定中

Ⅴ. ESG・SDGsに向けた取り組み　②ダイバーシティ推進

性別・国籍などの背景に関わらず、働く人が能力を発揮でき、
ワークライフバランスの向上を図れる環境整備に取り組んでいます。

女性活躍推進：製造現場への職域拡大、新卒女性比率(2020年29%)

積極的な外国籍人材の登用：外国籍人材の採用比率(2020年14%)

Ⅴ. ESG・SDGsに向けた取り組み　③脱プラ・紙化推進

紙塗工用水性エマルション(FDA収載)

✓ハイロス-X・PE-2273/QE-2128

・紙に耐水性、耐油性、ヒートシール性を付与
・ポリエチレンラミネートでは困難な、紙のリサイクル性を維持

ヒートシール性

耐油・耐水性

TOKYO PACK2021　に出展

✓EF(Eco-Friendly)シリーズ

生分解性を有し、防湿性を付与できるバイオマス製品(T-EF102)をプロモート中

脱プラスチック・紙化を実現する環境配慮型製品を開発し、地球環境の未来に貢献

Ⅵ. 新市場区分への対応

プライム市場上場維持基準への適合状況に関する一次判定の結果を踏まえ、上場維持基準に係る経過措置の適用を受け、プライム市場上場維持基準への適合を目指すことを7/30の取締役会において決議し、開示いたしました。

<プライム市場上場維持基準への適合状況（一次判定）>

項目	プライム市場 上場維持基準	基準への適合状況	備考
流通株式数	20,000単位以上	適合	2020年12月31日時点
流通株式時価総額	100億円以上	不適合※	2021年4月1日～6月30日の平均終値により算出
売買代金	2,000万円以上	適合	2020年7月1日～2021年6月30日の平均売買代金により算出
流通株式比率	35%以上	適合	流通株式数/発行済株式総数（2020年12月31日時点）

※7月1日～8月23日の日々の最終価格の平均値から算出した流通株式時価総額は基準を上回っている。

業績の向上、適時適切な情報開示、投資家との積極的な対話など、様々な施策を実行することで企業価値の向上を通じて基準への適合を目指してまいります。

今後のプライム市場上場維持基準充足に向けた具体的な取り組みは、今年度末までに「上場維持基準の適合に向けた計画書」にて開示予定

最後に

ご紹介した製品や技術は当社ホームページのテクニカルレビューに掲載しております。

＜予想に関する注意事項＞
- 本資料では情報の提供を目的としており、勧誘行為を行うものではございません。
- 業績見通しは現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しでございますが、実際の売上高および利益は、記載している予想数値とは異なる場合がありますことをご承知おき下さい。
- 当社は業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではございません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。
- 本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではございません。

当社へのご質問等は

e-mail：ir@seikopmc.co.jp

TEL　：03-6202-7331

までお問い合わせください。

Appendix

✧事業内容

✧当期の事業環境

✧ROE・株主還元

Appendix-Ⅰ.事業内容

➢ 製紙用薬品事業

紙力増強剤
サイズ剤
家庭紙用薬品
製紙用補助薬品

<主な用途>
紙　新聞用紙、印刷・情報用紙
　　家庭紙 他
板紙　段ボール原紙
　　紙器用紙 他

➢ 樹脂事業

各種印刷インキ用樹脂
記録材料用樹脂
粘着剤(新綜工業)
CNF(セルロースナノファイバー)

<主な用途>
フレキソ・グラビア・オフセットインキ 他
LBPプリンター用トナー 他
工業用両面テープ 他
ランニングシューズ他

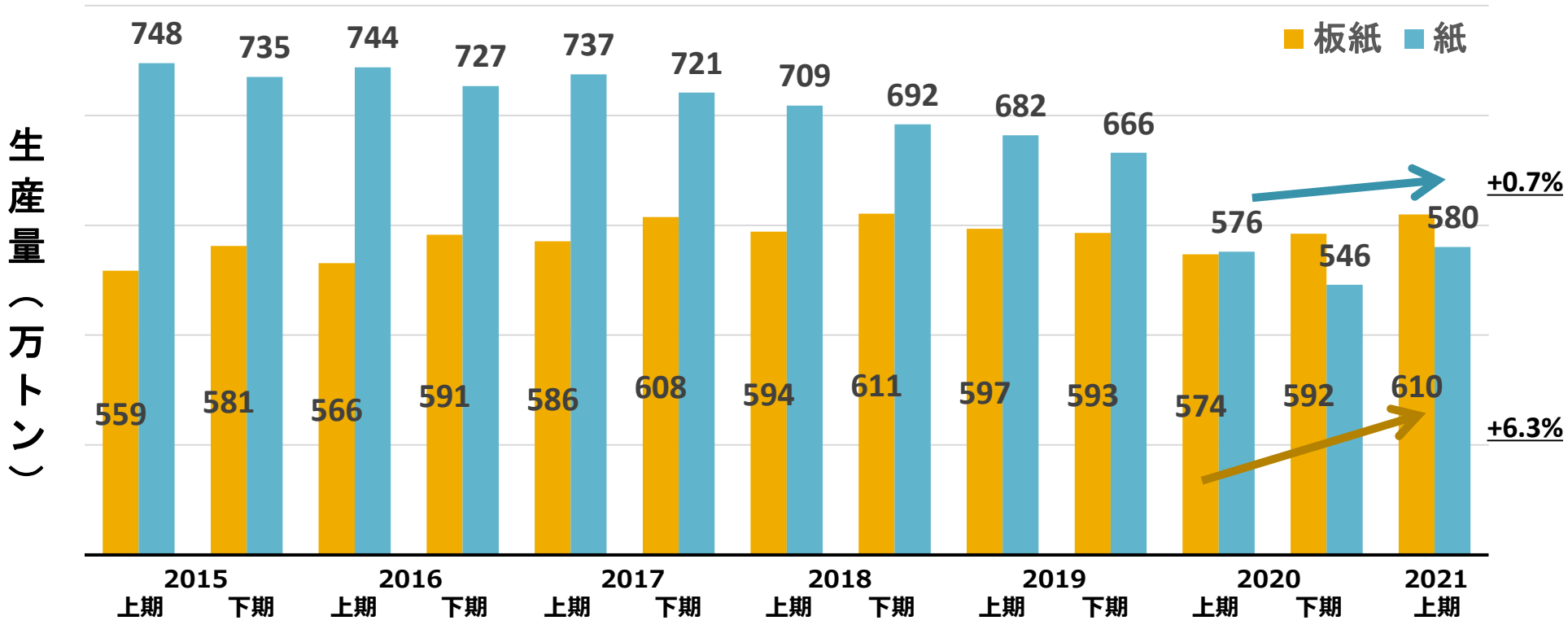
➢ 化成品事業(KJケミカルズ株式会社)

各種機能性モノマー 他

<主な用途>
UVコート剤・インキ、水系塗料、
製紙用薬品、粘・接着剤、
石油掘削用ポリマー、化粧品、電子材料 他

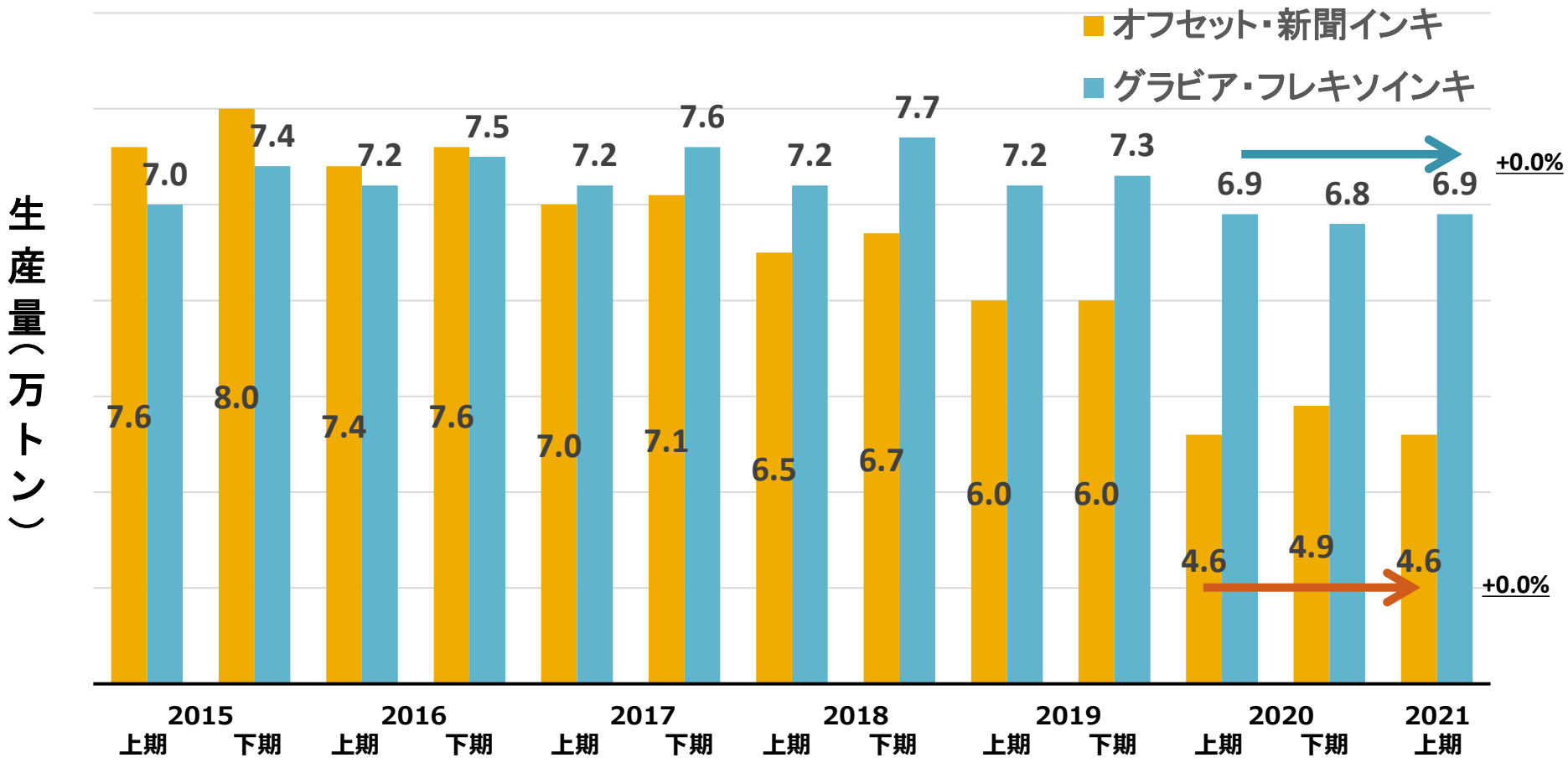
Appendix－Ⅱ.当期の事業環境（国内紙・板紙生産量）

・2021年上期の国内紙･板紙生産量は1,190万トン(前年同期比+3.5%)と回復基調も、
紙生産量は580万トン(前年同期比+0.7%)、板紙生産量は610万トン(前年同期比+6.3%）であり、
特に、紙種によっては回復が鈍い
・板紙は需要回復が力強く、堅調な推移であった



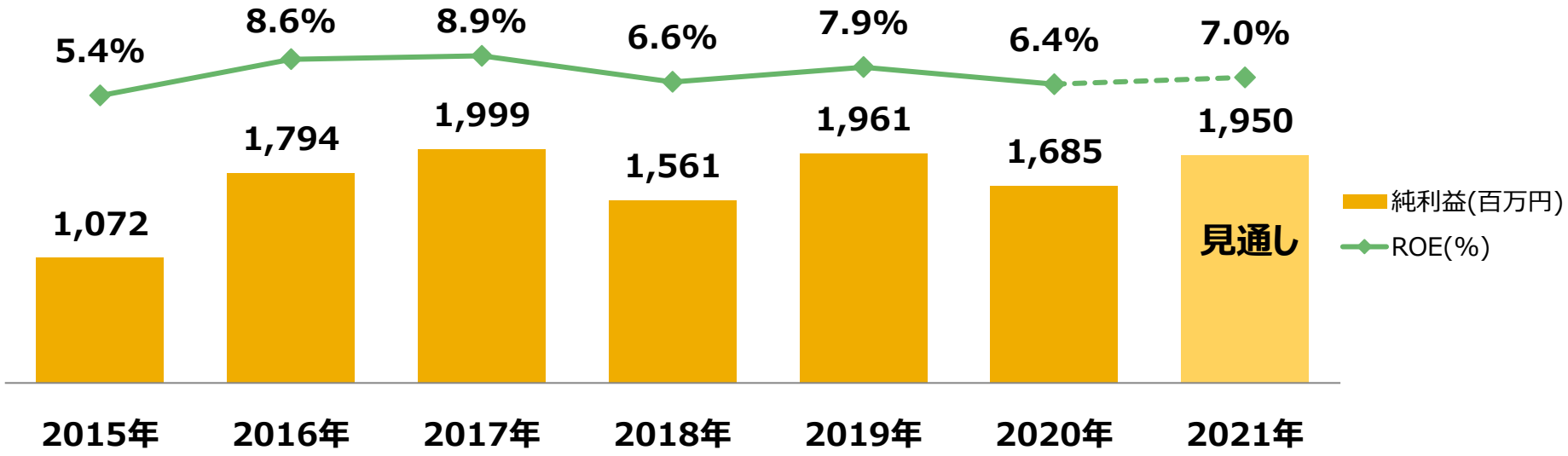
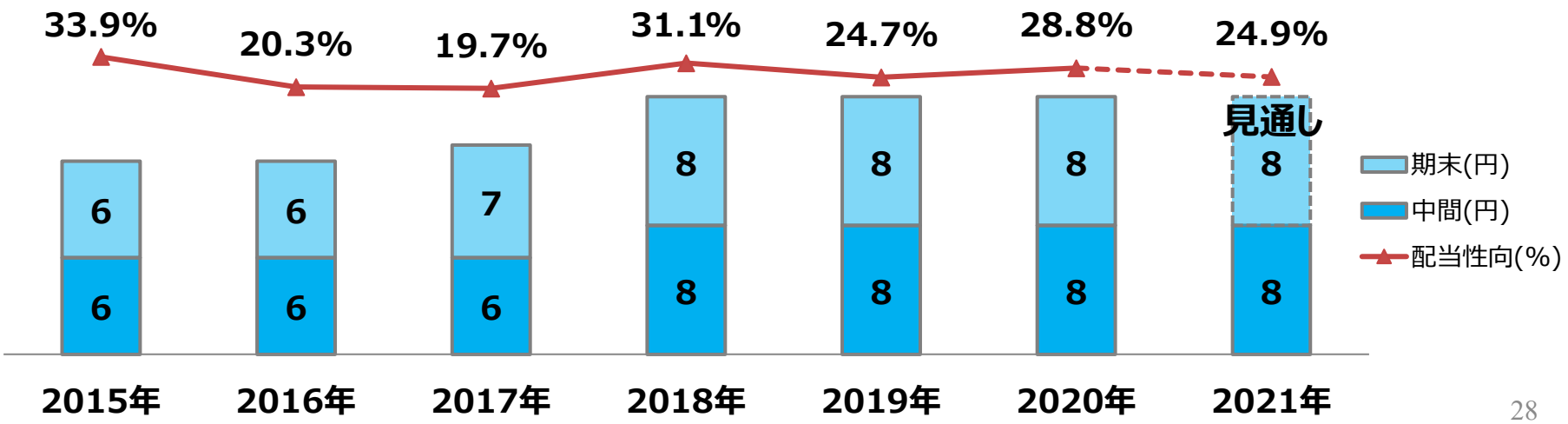
Appendix－Ⅲ.当期の事業環境（国内印刷インキ生産量）

2021年上期の国内オフセット･新聞インキ生産量は4.6万トン(前年同期比0.0%)、グラビア･フレキソインキ生産量は6.9万トン（前年同期比0.0%）と横ばいと、新型コロナウイルスの影響からの需要回復が見えない



Appendix-Ⅳ. 純利益・ROE・株主還元

ROE/純利益



株主還元